

他地域での取組事例集

(一部制度の紹介含む)



項目	参考アイデア	参考頁
生活インフラ	住民主体で店舗を運営	4,5
	ボランティアによる足の確保	6
地域の活動、役員	地域行事の棚おろし、見直し	7,8
	他地区との共同実施	9
	外部人材の活用	10,11,12
高齢化・人口減少	住民主体での見守り活動	13
	高齢者の居場所づくり	14,15,16
	高齢者と子供との交流づくり	17,18
農業	希望者に農地を貸出し	19
	地区で農地の共同管理	20
	ジビエ料理の開発	21
	耕作放棄地の活用	22,23
	子供の農業体験	24

項目	参考アイデア	参考頁
その他産業	廃校・廃園を活用した仕事の創出	25
	移住者の仕事の創出	26
	サテライトオフィス	27
	一般向けに後継者を募集	28
子ども、子育て、結婚	移住体験ツアー	29
	婚活イベント	30
	農村留学	31
	子どもに地域の未来を考えてもらう取組	32,33
伝統文化	よそ者や外国人への継承	34

○内容

- 地区唯一のスーパーが撤退したことを受け、**全世帯からの寄付を経てNPO法人を設立**（NPO法人ほほえみの郷トイトイ）
- **NPO法人が日用品と食料品を販売する店舗を運営**し、地域住民の交流の場づくりと買い物場の提供、移動販売などにより地域住民の生活を支えている。
- NPO法人は、地域福祉事業にも着手し、介護予防・日常生活支援事業、空き家利活用、地域食堂なども展開。

地域概況

- 人口1,203人、632世帯、高齢化率55%（H31）
- 地福地区を含む旧阿東町域は、中国山地に囲まれた豪雪地帯
- 山口市中心部からは車で約40分
- H17に1市4町による山口市誕生の後、旧阿東町はH22に編入合併
- H22に地区唯一のスーパーが撤退し、買い物先の確保が課題

取組内容

地域スーパーToiToiの運営

- 食料品や地元で採れた野菜などを販売。
- 地元女性グループ「トイトイ工房さん」が手づくりの惣菜を販売。

移動販売トイトイ号の運営等

- 地福地区及び阿東地区の各所へ巡回販売。
- 地域支援コンシェルジュサービス「『ごようきき』ふくちゃん」（離れて暮らす家族への画像撮影・送信による見守りサービス）も同時に実施。



交流スペースToiToiの運営

- 交流スペースを設け、各種講座や教室などを開催。
- 介護予防事業として、「元氣いきいき広場」、「認知症カフェ」を展開。
- バス待ち時間や買い物ついでの住民交流の場としても提供。



地域食堂事業の展開

- 高齢者の孤立化を防ぐとともに子どもの居場所づくりとして、高齢者や子どもなどが世代間交流しながら一緒に昼食をとる地域食堂を展開。
- ・原則週1回、料金300円（学生以下は無料）

市の地域コミュニティ政策

- H17の市町村合併の後、地域ごとのコミュニティ活動を推進するため、全地区で地域づくり協議会に交付金を交付
- 阿東地区では、H22の市町村合併の後に阿東地域づくり協議会を設置

運営体制



主な国の支援策

- 食と地域の交流促進交付金（農林水産省、H24）
- 地域づくり活動支援体制整備事業（国土交通省、H27）

生活インフラ

ボランティアによる足の確保

千葉県香取市

NPO法人未来ぴかぴかピカップ

○内容

- ピッカー（ボランティアドライバー）が地区ごとに設定した人数になったら、**お年寄りに無償でタスキを配布**
- **お年寄り**は出かける際に**そのタスキをつける**。
- ピッカーは、タスキをつけてお年寄りを見かけたら、自動車を安全に止め声をかける
- 行き先を確認し、安全に送ってあげる（完全無償）



ピカップに参加する3つのステップ

Step 1. ルールとマナーに同意する

Step 2. 登録手続きをする（登録料500円）

Step 3. ピッカーマグネットを2枚を車に貼る

※反社会勢力（暴力団など）と関わりのある方はご参加いただけません



ピカップの実現に向け、只今ピッカーさん募集中。**ボランティア**
香取市に在住、勤務、近隣の方 目標5000人！**募集中**
思いやりあふれる街づくりにご参加ください！



ビジネスプランで、未来を描け。

CHIBA ビジコン 2016
INNOVATIVE HIVE

第2回ちば起業家ビジネスプランコンテスト

アイデア賞受賞

多くの方の期待に応えて実現に向けて活動中です。

地域の活動、役員	地域行事の棚おろし、見直し
岡山県高梁市	行事仕分け

○背景

岡山県高梁市の宇治地域では高齢化や人口減少が進み、地域行事を続けるにも負担の声が上がるようになってきた。

○内容

(1) 全員アンケート

宇治地域まちづくり推進協議会が、**家長だけでなく、中学生以上の住民全員にアンケートを実施し、地域運営の在り方を様々な観点で問い、その結果をみんな**で共有。

(2) 円卓会議の開催

多世代混在の円卓会議「宇治の明日を考える会」を発足。事業仕分け等何度も話し合いを重ね、自分ごととして地域の方向性を考えた。

(3) 総会での地域の方向性の共有

地域を存続させるために必要なこと(行事を少しずつ減らしてでも、事業(生活・稼ぎ・移住受け入れなど)をすすめること)を、その円卓会議で自ら決定し、地域総会で発表・承認され、地域づくりの柱の検討、アクションプランを策定。

→ここで一部行事は2年に1回に変更等を行った。

地域の活動、役員

地域行事の棚おろし、見直し

—

地域の行事・会議・組織を棚卸しする方法

○目的

時間がどのように使われているかを把握する

○内容

・地域にどんな組織・団体があり、それぞれがいつ、どのような行事・活動や会議を行っているかを一覧にまとめる

図表 2-13 地域内の組織・団体と活動・会議一覧

組織・団体名 主な活動(祭から清掃まで) 会議(地区外の開催含む)	主な活動の開催時期 (企画・準備から開催まで「→」で結ぶ。毎月など定期開催のものは※★など印で)												役員の定数 平均在職年数 女性役員比率			年間収入額 繰越金 累計額	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間の会議関係時間			会議延べ時間※	
													役員定数()人 役員平均在職()年 女性役員()%	会議関係年()時間	収入()万円 繰越計()万円	延べ※()時間	
													役員定数()人 役員平均在職()年 女性役員()%	会議関係年()時間	収入()万円 繰越計()万円	延べ※()時間	
													役員定数()人		収入()万円		

地域の活動、役員

他地区との共同実施

椎葉村

三地区合同神楽

○背景

人口減少により、松尾地区内の水越、畑、栗の尾の3集落で継承してきた神楽は、担い手不足により存続が危ぶまれていた。

○内容

地区の青年会、婦人会、老人会が地域活性化をテーマに協議を行い、夜神楽祭りの復活に取り組み、**地区内の3神楽を一堂に鑑賞できる催しを開いた。**

→復活を機に青年会などが3神楽の練習に参加するように。後継者としての意欲もでてきた。

住民結束 夜神楽祭り27年ぶり



27年ぶりに復活し、大勢の観客を沸かせた「松尾かぐら祭り」＝2日午後、椎葉村松尾・大いちょうふれあいセンター

「みんなの『あひさし』といかない」といふ声があつた。地区の空気が変わった。と手応えを語る椎葉さん。松尾の元気が村全体の活性化に波及するへん、とんどん仕掛けていきたい。にきわつ会場を賑やし、挑戦を続ける覚悟を新たにした。(松田ゆき)

椎葉
松尾
3集落の舞、盛大



深い谷に集落を点在する椎葉地区の人口は、15年は611人に減った。地区内の水越、畑、栗の尾の3集落で継承してきた神楽は、担い手不足で存続が危ぶまれる事態に、いずれも本来は、三十三番を夜通し舞う夜神楽だ。だが、現在は集落ごとに、屋神楽で半分以下の演目を奉納するだけ。このままでは先から引退した伝統文化をなくす。地域に危機感を感じた。椎葉さんや地区の青年会、婦人会、老人会などは昨年8月、同会OBら約20人は、3神楽の練習に参加するようになった。来年から本格的に舞を習い、ゆきくは後継者にならんと意気込む。

「みんなの『あひさし』といかない」といふ声があつた。地区の空気が変わった。と手応えを語る椎葉さん。松尾の元気が村全体の活性化に波及するへん、とんどん仕掛けていきたい。にきわつ会場を賑やし、挑戦を続ける覚悟を新たにした。(松田ゆき)

「お祭りを、まずは会場に集まらねえと。手始めに、1980年で途切れた同祭りの復活に取り組むことにした。地区内の3神楽を一堂に鑑賞できる催しは、同年まで、3年ほど開かれたが、何らの理由で中止となっていた。

祭りの日、関係者午後から同センターで慌ただしく準備に追われた。神楽の舞1・御神楽(みさや)を伴うのは神楽保存会や青年会、観望振る舞う、煮込みなどの炊き出しを担当するのは加工アルプの女性。青年会委員の甲斐松葉さん。このやり方がいい」と生々生々とした表情を見せた。

会場には約120人が詰め掛

地域の活動、役員

外部人材の活用

新潟県糸魚川市

集落支援員を活用した地域づくり

○集落支援員とは？

集落支援員は、中山間地域の高齢化が進む集落の機能や活力を維持し、集落の活性化を支援するために活動する市の非常勤職員。

※総務省の外部人材活用制度の一つである「集落支援員」制度を活用した取組。

○活動内容

集落支援員は、市内の中山間地域で降積雪量が多く、高齢化が進んでいる地区に配置。（平成31年時点で11名）

集落機能や活力の維持、活性化を目指し各担当地区の課題や要望に対応して、次のような活動を行っている。

【交流の促進】 高齢者サロン立ち上げ・運営支援

【交流の促進】 各種団体間の交流仲介（根知地区と小谷村の交流）

【集落の活動・運営支援】 地域づくりワークショップへの参加・助言

【集落の活動・運営支援】 集落と地域包括支援センターとの橋渡し

【地区情報の発信支援】 ブログでの情報発信、地区内情報紙の発行支援



地域の活動、役員	外部人材の活用
宮崎県	中山間盛り上げ隊

○中山間盛り上げ隊とは？

「中山間盛り上げ隊」は、市町村や集落などからの依頼に応じて、集落などで単独で行うことが困難となった各種作業などの支援活動を行うボランティア。

※宮崎県の取り組み。

○活動内容

市町村や集落などからの依頼に応じて、次のような活動を行う。

- ・ 集落道の草刈りや用水路の清掃など、集落の環境保全活動
- ・ 地元のお祭りや行事の準備・運営補助
- ・ 神楽など伝統芸能のサポート
- ・ 集落で管理する花壇の植栽、農業体験田の田植・収穫など

○事例1：日南市鶉戸地区「手洗川草払い・花壇の整地作業」

○事例2：高千穂町押方五ヶ村東地区「町道の草刈り、側溝の清掃等のお手伝い」など



10月21日(日) 派遣人数7名
 鶉戸神宮の玄関口宮浦地区を流れる手洗川は、地域の方の整備の甲斐もあり、10年程前からホタルが飛ぶようになったとのこと。この環境を守るため、河川内の草払いをしました。腰丈まで伸びた草と格闘しながらの作業となりました。
 別チームは、国道沿いに地区のおもてなし空間として作られた花壇の整地作業でした。隊員として高校生も参加してくれました。初めて握る三本鍬で、土を掘り起こす作業でしたが、先輩隊員から手厚くご指導いただき、ほぼ一人で掘り起こしてくれました。
 作業終了後に、来年5月の暗闇を乱舞するホタルの幻想的な雰囲気皆さんと想像しながら、こんな取組みができたらいいなと地域の方と意見交換をしました。

日南市鶉戸地区宮浦
 手洗川草払い・花壇の整地作業

地域の活動、役員

外部人材の活用

石川県

留学生等いしかわ魅力発信モニターツアー

○背景

外国人住民は、支援の対象者として様々なサポートが必要な面もある一方で、主体的に地域活動に参加することで、外国人としての視点を活かして地域の活性化に貢献する可能性も秘めている。石川県では、県人口当たりの留学生の割合が全国上位であることを活かし、外国人特有の視点を観光振興に活かすべく、2015年度より本事業を開始した。

○内容

県内の大学に通う留学生やJET参加者を対象に、金沢・加賀・能登の観光地を散策し、その魅力について話し合い、石川県への理解を深めてもらった上で、見聞・体験したことをSNS等を通じて母国の家族や友人、知人等に広く発信してもらう取組。

→2015年度には情報発信した相手のうち19か国から96人が来県した。



能登でのモニターツアー

高齡化・人口減少

住民主体での見守り活動

日向市東郷町

住民同士で安全確認－黄色い旗運動

○背景

日向市東郷町における65歳以上の高齢者は1,737人で、高齢化率は約38%と高齢化が進んでいた(2013年時点)。東郷まちづくり協議会が「運動により高齢者の孤独死などの防止につながれば」と運動の効果に期待を寄せてスタート。

○内容

高齢者見守り活動の一環で、町内の各家屋前に毎日旗を立てることにより、住民同士で安全を確認し合う試み。高齢者宅に限らず全世帯で行うことで、町全体の地域安全、コミュニケーション向上を図る。

住民は毎朝、軒先に旗を掲げ、夕方になってしまうことで家の安全を周囲に示す。



高齡化・人口減少

高齡者の居場所づくり

高原町

ゆるい見守りで元気に！”ちゃのんば”

○背景

自殺予防の為の、「一日30人と話そう」という活動の延長として、お茶を飲みながら話をしようと、生まれたもの。

○内容

NPO法人たかはるハートムが町からの委託を受けて、主に高齢者を対象にした見守り事業として、町内の15か所の地区で、月に、1, 2回、決められた日に、自由に訪れて、お茶を飲みながらくつろげる場として、公民館を解放している。平成24年に本格始動。

→70歳以上の高齢者は、平成24年からの自殺者は、一人もいない。（平成27年時点）



高齡化・人口減少

高齡者の居場所づくり

五ヶ瀬町

結ネットたんぽぽ

○背景

高齡者の居場所づくりのため、五ヶ瀬町の主婦や農家ら11人が市民団体を設立。その後、高齡者の困りごとの解決に向けた支援を開始した。活動拡大や資金面の安定のためにNPO法人化している。

○内容

【居場所活動】

子どもから高齡者まで誰もが気楽に立ち寄り、自由な時間を過ごせる場所を提供。

【見守り活動】

ひとり暮らしや高齡者世帯等を電話や訪問で見守る活動。

【助け合い活動】

有償ボランティアによる助け合いを広げる活動。

【あいであ広場】

大人と中高生が町の将来について、考え、意見交換し、行動に移すことができる場として月1回開催。



出典：2018年9月29日宮崎日日新聞



出典：結ネットたんぽぽHP

高齢化・人口減少

高齢者の居場所づくり

新富町

空き家を活用した居場所づくり

○背景

新富町新田・麓地区の住民ら有志が、話し相手がおらず、孤独感を抱えている高齢者らが地域に在ることを解消しようと企画。地域の助け合いの心を育み、笑顔が絶えない楽しい場所を目指す。

○内容

空き家を活用して地域の高齢者らが気軽に集うことができる「居場所」づくりを進めている。運営は地域住民が主体となり、いつでも鍵を開けることができるような仕組みにする。

○取り組みのながれ

- ・ 住民が、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターの呼び掛けによるまちづくり勉強会に参加。
- ・ その中で、孤独を感じている地域の高齢者らが立ち寄れる場所をつくることが提案される。
- ・ メンバーの一人が、使っていない空き家の提供を申し出。



出典：2019年3月29日南日本新聞 HP

高齢化・人口減少

高齢者と子供との交流

鹿児島県始良市

勉強も食事と一緒に 高齢者が子ども見守り活動

○背景

地元の高齢者でつくる白金原輝会は重富小学校付近で登下校の見守り活動をしている。夏休みも元気に過ごしてほしいと、学習会・食堂を企画。

○内容

夏休みの13日間、公民館で学習会・食堂を開き勉強を見守る。

児童は午前中、勉強や読書など思い思いに過ごし、休憩時間には輝会のメンバーと歌やクイズを楽しむ。

昼食は県や民間の助成、寄付で材料費をまかなう。

→児童50人のほか、ボランティアら22人が参加（高齢者に限らず参加可）。



出典：2018年8月7日南日本新聞 HP

高齢化・人口減少

高齢者と子供との交流

愛媛県松山市

空き教室を活用し地域の世代間交流拠点等に

○内容

●放課後児童クラブとして活用

- ・ 学校内に放課後学童クラブを設けることで異なる学年の児童交流の場となっている

●子育て支援施設として活用

- ・ 子育て中の保護者の育児相談の場や地域活動への参加等の教育効果も見込んでいる

●高齢者福祉施設として活用

- ・ 老人福祉施設を学校内に設けることにより、児童と高齢者とのふれあいの場が提供されるだけでなく、福祉関係機関と連携し、地域福祉の拠点としても活用



出典：経済産業省HP
活用しよう！余裕教室－余裕教室活用事例より

農業	希望者に農地を貸出し
兵庫県宍粟市	農地と空き家セットに

○背景

市内の空き家の増加と共に遊休農地も増加する一方、近年は移住希望者が増え、家庭菜園程度の農地を求める人が増加してきたというニーズがあった。

○内容

宍粟市と農業委員会は、農地取得者は農地を 30 アール又は 10 アール以上経営することが求められているところ、空き家バンクに登録された空き家とセットの農地に限り、1 アールから経営できるようにしている。

農地付き物件をバンクに登録したい所有者は、空き家担当課と農業委員会にそれぞれ申請。農業委員会は現地調査で指定可能な農地かどうか確認し、総会での議決を経て下限面積1アール区域として地番ごとに指定する。

→2018年11月末までに23件の農地付き物件がバンクに登録され、14件が制度を活用して成約。計31筆（1.06ヘクタール）の活用につながっている。

農業

地区で農地の共同管理

山口県美祢市 信
大・秀十地区

複数の担い手に分散していた農地を集積・集約

○背景

従来は個人の担い手が分散経営していたが、高齢化が進展する中、このままでは地域の農地を将来に渡って守れないとの危機感を持っていた。

○内容

- 担い手が主体的に、自ら地主の説得や制度説明、農地の利用調整に当たるなど、地元に着した話し合いを重ね、集落全体を一つの法人経営体（（農）嘉万の里）に集約した。
- 農地集約は全て農地中間管理事業を活用
- 法人経営への移行と同時に大豆の作付面積を拡大（従来0.3ha→法人化後11.5ha）
- 大豆作付農地の団地化や、近隣法人との大豆用機械の共同利用に取り組むなど、コスト低減にも努めている。



〔 地域の農地利用の変化 〕

農業

ジビエ料理の開発

和歌山県東牟婁郡
古座川町

厄介者を地域の宝に！ マイナスからプラスへ

○背景

古座川町では野生動物による農作物被害等が年々増加している為、シカ、イノシシを捕獲・駆除していたが、そのほとんど廃棄処分されていた。**ジビエを地域振興の起爆剤にするために古座川ジビエ振興協議会を設立。個人会員50名と団体会員で構成。**

○内容

- 狩猟者を対象に「捕獲個体受入講習会」を開催しジビエハンターを育成
- ミンチ肉を活用しパティに鹿肉ミンチ72%を使用した「**里山のジビエバーガー**」を地元企業と**共同開発。**
- 食を通じて地域を知って頂くために、**バーガー購入者に抽選で古座川町へ招待。**狩猟体験やジビエバーバーベキュー、ナイトサファリツアー等を実施。
- **学校給食に鹿肉を導入**

→捕獲従事者の費用負担軽減や捕獲意欲の向上が図られ、農作物被害の軽減効果があった。



「里山のジビエバーガー」
グランプリ獲得



体験ツアー
「ちびっこハンターになろう」



ジビエハンター育成
「捕獲個体受入講習会」



給食導入前の調理講習会

農業

耕作放棄地の活用

長崎県諫早市

放牧による耕作放棄地解消

○背景

鳥獣被害による収穫量の減少に加え、農業者の高齢化と後継者不足により、耕作放棄地が増加していた。

○内容

- 畜産農家が主体となり、耕作放棄地に繁殖雌牛等を放牧し、繁茂している雑草を食べさせて農地として再生。その後、牧草を播種し、放牧地として管理している。
- 畜産農家は耕作放棄地を借りて年々放牧面積を拡大している。現在は8.2haにおいて実施（平成28年時点）。

→

- 繁殖雌牛が強健になり毎年子牛を産むようになり繁殖成績が向上
- 子牛の疾病が減少
- 放牧地の牧草を飼料にし、飼料代が削減
- 水の補給以外は手間もかからず、省力化。



農業

耕作放棄地の活用

鳥取市鹿野町

耕作放棄地を果樹の里に！

○背景

小鷲河地区では、耕作放棄地が多く存在していた。2014年に、一気に約4ヘクタールの耕作放棄地が生まれる可能性があったのを機に、行政と住民が話し合い、これまで守ってきた農地を雑草だらけにするのではなく、みんなで協力して、果樹の里山へ転換しようと決めた。

○内容

NPO法人「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」が耕作放棄地に果樹を植え里山へと転換させる取り組み。農村集落活性化支援事業の補助金を申請し、2015年に採択を受けて、現在4年目。

- 耕作放棄地の除草
- 植栽基盤の畝作り
- 果樹の植苗（3年半で、計3ヘクタールにイチジク、栗、柿を中心に、約700本）
- 防除（害虫対策）や苗植え後の肥料散布、農道の舗装
- イチジクを使った地ビールづくり



農業	子供の農業体験
川南町	農業委員会が荒廃農地の解消に取り組み、小学生の農業体験と食育にも繋がる

○概要

農業者からの相談を契機に「川南町農地活性化プロジェクト」を立ち上げ、農業委員会が主体となって荒廃農地の再生利用を開始。教育委員会と連携した食育や加工品にも取り組む。

○取組効果

- 川南町農業委員会が主体となった農地再生のための取組が契機となり、教育委員会と連携した食育が加わり、加工品販売まで広がるなど、まち全体を巻き込んだ地域振興につながった。
- 町内の荒廃農地の再生利用が進んだことはもちろん、放課後の子どもも教室の活動に寄与し、**農業体験を通じて農業の楽しさや食の大切さを伝えることが出来た。**

○活用した事業

- 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用（農林水産省所管事業、再生作業）



再生された農地でのサツマイモの定植



サツマイモの収穫風景

その他産業

廃校・廃園を活用した仕事の創出

愛媛県宇和島市御槇地区（人口357人、高齢化率57%）

廃園になった保育園を農家レストラン（みまきガーデン）

○内容

- 人口減少・高齢化を踏まえ、ワークショップを実施し、地区の活性化計画を作る。その中で、特に地区として取り組みたいこととして、「旧保育園を使って配食サービスをしたい」「お米をブランド化したい」という2つの取組が挙がる。
- 配食サービスを実現するため協議会を立ち上げ、旧保育園の改修資金を総務省の事業を活用し実施。
- 配食サービスに興味のある有志で先進事例を視察に行き、配食だけでは収入が少なく継続できない可能性が高いこと、ランチバイキングや仕出し、宿泊等により収入をあげる努力が必要なることを実感。
- 平成26年4月に旧保育園を活用した農家レストラン兼宿泊施設「みまきガーデン」をオープン。配食サービスも開始。



図 みまきガーデンオープン式典

<御槇地区での配食サービスの現状>

○配食サービスの概要

- ・配食回数：毎週木曜日、週1回
- ・利用者数：現在26名（開始時16名）
※高齢者以外にも配達
- ・スタッフ数：平均4～5名（配達2名）
- ・内容：弁当350円、惣菜詰合せ300円
おかずは7～8種類
地元で採れる野菜を使用
- ・配食時に行う見守りに対し、市より委託料（宇和島市高齢者見守り配食事業）が支払われている。



図 左：弁当、右：惣菜
（右下は糖尿の方対象）

出典：平成28年度ネットワークで明日に繋ぐ！「宮崎ひなた生活圏」モデル事業（椎葉村）報告書

その他産業

移住者の仕事の創出

長野県信濃町

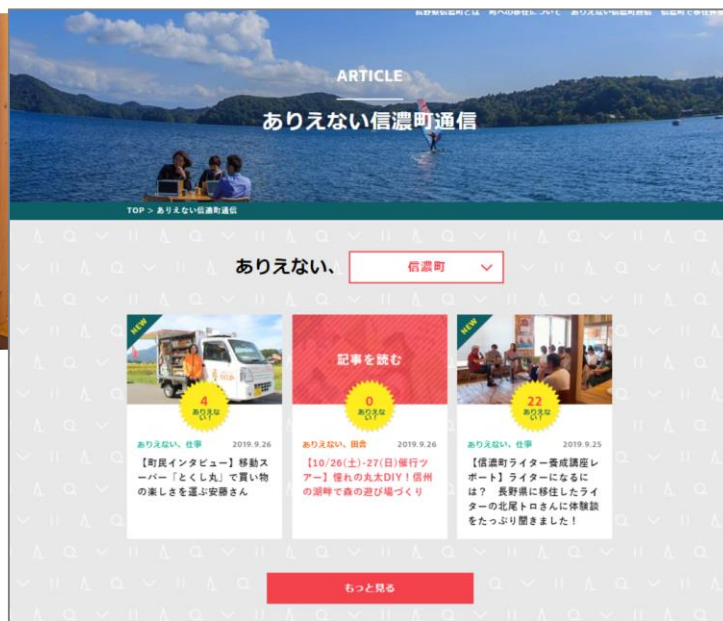
移住者が地域の魅力をSNSなどで発信

○目的

移住者に地域の魅力をSNSなどで発信してもらい、生の声を広くPRする

○内容

- ・ 移住者の視点で地域の活動や暮らしを積極的に情報発信する。
- ・ ライター講座も開講し作文スキルを磨くことで、より効果的な情報発信を行う。
→子育て中の母親等が移住者ライターとして活躍



その他産業

サテライトオフィス

新富町

企業が推進するサテライトオフィスの初の地方拠点を設置

○目的

移住者と地域の触れ合いから、新たな事業が生まれることを期待し、移住者・移住希望者・地域で新しいことにチャレンジする人たちの相談・交流拠点づくりを支援する。

○内容

- ユニリーバ・ジャパン（企業）が働く時間や場所を社員が自由に選べる新しい働き方を推奨する活動を支援するため、**空き店舗をリノベーションしてできた場所をメンバーに開放**する
- メンバーなら誰でも、いつでも、何度でも「移住交流促進ラボ」をオンライン会議やリモートワークの拠点に活用できる



その他産業	一般向けに後継者を募集
宮崎県	後継者人材バンク

○概要

- ゼロからの起業ではないため、少ない資金とリスクで創業することができる。Uターン・Iターンで経営者になることも可能。
- 顧客や仕入先、店舗等の経営資源のほか、知名度やノウハウなど目に見えない資産を受け継いで、事業に精通した事業主のアドバイスを受けながら起業することができる。

中小企業の事業承継を支援する公的機関
宮崎県事業引継ぎ支援センター

親族内承継？
役員・従業員承継？
第三者承継？

もし廃業すると
どうなるの
かなあ？

自社株式の承継は？
事業用資産の承継は？
必要な資金は？
税金は？

社長、後継者問題を先送りしていませんか？

会社を存続させていく上で、事業承継の問題は避けて通ることができません。事業承継は全ての企業で必ず起こります。けれども、『まだ元気だ。当分やれる！』『後継者はいない。どうしていいのかわからない』などの理由で、多くの経営者がその対策を先送りしがちです。しかしながら、事業承継対策には準備に時間がかかることが多いのも事実です。対策を怠れば、いざ事業承継をするときには、『相続を巡ってのもめ事が起きる』『後継者に経営ノウハウがない』『後継者が取引先・従業員の信頼を得られない』などの問題が発生する恐れがあります。そうならないためにも、計画的な取り組みが重要です。

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

宮崎商工会議所

宮崎県事業引継ぎ支援センター
TEL 0985-72-5151 にご相談下さい。

個別の事情に応じて、税務、法務等の外部専門家の助言も得られるようアレンジします。
なお、その際は自己負担が生じる場合もあります。

〒880-0811 宮崎市錦町1番10号KITEN7階
メール shokei@miyazaki-cci.or.jp

相談無料 **秘密厳守**

相談開設日
■ 毎週月～金曜
■ 9時～17時(年末年始、祝日除く)
(詳しくは裏面をご覧ください)

ご相談のお申込みは**お電話**もしくは、**裏面申込書**をFAXにてお送りください。

子ども、子育て、
結婚

移住体験ツアー

五ヶ瀬町

おためし林業体験の宿泊ツアーを開催

○目的

山の暮らしや山の仕事に興味がある人向けに移住体験ツアーを実施し、地域を知ってもらう

○内容

- ・宮崎の林業をPRするため、移住体験ツアーを開催。
- ・林業従事者との交流や、地域の魅力と触れあえる内容となっている。

おためしIN 宮崎県 五ヶ瀬町 1日2日 林業体験ツアー

日時 2018 11月23日(金)~24日(土)

山奥や山の仕事に興味はありますか？宮崎県五ヶ瀬町で豊かな自然を満喫し、山間地ならではの体験を交えながら、地元の方から山の仕事等の魅力を伺います。ぜひお気軽にご参加ください。

- フットパス こんやく作り**
フットパスは森林や田園などの風景を楽しみながら歩くことができる小径(Path)のこと。散策のあとは地元の方々とこんやく作り体験です。
- 夕日の里 農村宿泊**
「あかまじなさいのふるさとへ」農家の日常の暮らしとゆりのこもったおもてなしで、あなたの「ふるさと」に帰ったような気持ちでお泊まりください。
- 林業作業見学 山の仕事って？**
林内作業が行われている森林を訪ね、仕事の手順や高性能林業機械の作業を見学します。

子ども、子育て、
結婚

婚活イベント

川南町

地元男性と県外等の女性の婚活イベントの開催

○概要

少子化対策の一環として婚活パーティーを開催する

○内容

- ・婚活イベント業者（縁活みやざき）と町が連携し、婚活ツアーを定期的で開催。
- ・県内外の女性を地元の食材を使った料理でおもてなし。

★女性のみ募集★
最大20名の
川南消防団男性
との出逢い。
10月26日19:00
20歳～39歳
川南の食材を使ったコース料理付き！
詳しくはこちら →

地元産の食材を使った
特別なグルメ&スイーツ♪
飲み放題付き！
嬉しいお土産も！

子ども、子育て、
結婚

農村留学

西都市（奥日向銀上
山村留学実行委員
会）

西都銀上学園 一体型小中一貫校での山村留学生の受け入れ

○概要

山村留学とは、親元を離れて地区の一般家庭に下宿し、そこから銀上小学校・銀鏡中学校に通学する制度。今までに、270人ほどの山村留学生を迎えている。

○内容

- 一年間親元を離れ、自然豊かな農山村で、里親の家から学校に登校。さまざまな自然体験を積みながら、たくましい体と豊かな心を育て、我慢強さや自立の精神を養うことができる。
- 期間は四月から一年間。
- 今年度は、県内外から16名（小学生6名、中学生10名）を受け入れ。
- 一日体験留学も実施（毎年11月に開催）



出典：奥日向銀上山村留学実行委員会HP

子ども、子育て、
結婚

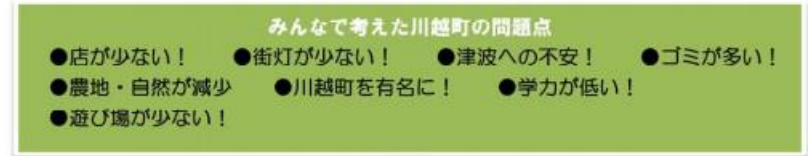
子どもに地域の未来を考えてもらう取組

三重県川越町
(1.5万人)

中学生ワークショップ

○内容

- 中学生を対象に、これまでの人口推移や将来の予測などについて説明を行ったのち、「私が町長になったら〇〇な町にするため〇〇を行います！」というテーマで、まちづくりに対するアイデアを考えてもらうワークショップを開催。



理想の川越町のイメージ ～キャッチフレーズ

笑顔咲く美しいまち

【具体的な取り組み】

◆街灯を増やす。

- ・国道1号線沿いは店や街灯が沢山あって明るいけど、1号線から外れると暗く、夜に通ると危ないので、街灯を増やして明るくしたい！
- ⇒豊田一色、役場周辺の道路など

◆リッカーゴール、バスケットゴールの設置

- ⇒北部公園、北福崎子ども広場に！
- ◆災害への意識を高める
- ⇒家族で話し合い、避難場所を決める
- ◆ごみのポイ捨てをしない
- ⇒ごみは持ち帰る、ごみ箱の設置

◆いきいきバスの運行

- ・お店が多い南地区に比べて北地区は田んぼが多い！
- ・車がないと買い物に行きにくい！
- ・お年寄りが多い！
- ⇒いきいきバスの運行本数を増やす！
(1時間に3~4本)
- ⇒バス停を増やす！
(車に乗ることができないお年寄りの家の近く！公園、公民館に！)
- ⇒バスを待っている間に座れるベンチを置く！

◆授業内容がわからない人には教師が付いて丁寧に教える！

- ◆上を日指している人にはもっと発展した問題をやる。
- ◆やる気のある人が集中して取り組めるような授業の雰囲気を作る。
- ◆小学校で基礎をきちんと身に付ける！
- ⇒以上のことを教師に直接呼びかける。

子ども、子育て、
結婚

子どもに地域の未来を考えてもらう取組

千葉県柏市

柏こどもまちづくり会議

○内容

- 小学生以上を対象に、「習い事」や「教室」ではなく、子どもたちが**創ってみたいモノ・挑戦してみたいコト**を「好き」を仕事にしている大人たちがサポートし、一緒になって実現する活動を行う場所を提供している。
- 「柏こどもまちづくり会議 #1」は、**30年後の地域をどんな素敵なまちにしたいか、どんな未来を描きたいか**を子どもと考えるワークショップを開催している。

(例)

- 大きな大きな模型にして表現しよう！というワークショップ



伝統文化

よそ者や外国人を後継者へ

広島県安芸高田市

外国人の地域文化継承者を現状より増やす

○背景

安芸高田市には神楽、田楽など多くの伝統文化が根付いているが、多くの地域は後継者が不足している。これらの伝統文化は地域で守るという風土が根強く、外国人にも継承するという発想がなかったが、伝統を守る集団のなかに外国人が入り、同国人や母国への情報発信がなされると、話題性ととともに近隣や外国人観光客の増加を期待することができると考えた。

○内容

外国人市民との文化交流を活性化して、地域の魅力を発信できる人材を育成し、観光地としての魅力の発信につなげる。

- 1) 外国人が居住する地域の伝統文化を継承する組織に協力依頼
- 2) 外国人市民に継承組織への加入を啓発
- 3) 伝統芸能の研修、実践活動の補助（通訳などのボランティア支援）